

旗立て場



野津原(のつはる)方言集
後編こぼればなし / 4ページ



賀来の祭りがはじまると旗を立てる習慣になっちよる。9月1日から11日まじ柿の木の台地に 青年しが立てた旗が風に靡きそん度に丸い環が柱にあたっ音う立つる。作柄を祈り豊作を祈念する素朴な行事じやが 若いしの交流も鶏飯う炊いちドブう飲む 束の間の憩い。

賀来の祭りが始まると旗を立てる習慣になっている。9月1日から11日まで柿の木の台地に、青年が立てた旗が風に靡き、その度に丸い環が柱に当たった音を立てる。農作物の育ち具合を祈り豊作を祈念する素朴な行事だが、若い者の交流も鶏飯を炊いてどぶろく(濁酒)を飲む、束の間の休憩であった。

本文では素朴な祭りとあるが個人的には農作物を祈るその地域特有の祭りであり、祭りをすることで農作物がより育つことができる大切な行事であることが良く分かる物語である。

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
今別府竜也

トギ

野津原(のつはる)方言集
後編 / 272ページに載っている

トギ 友達

取り上げたきっかけ

簡単な単語ですが、方言の意味が全然分かりませんので。

コメント

最初「ときどき」の意味だと思いました。その後、「友達」という意味だとわかりました。

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
張 正輝

シコ

お腹が冷えないように
予めカイロをしこする

野津原(のつはる)方言集
続編17 / 17ページ



干る間に仕事ん区切りうつけち交替じ昼寝しよるがそげな時でん本当は女ごしゃやっぱ男しに働かせにゃならんき小昼ん火焼きもシコせにゃなるめー。

乾く間に仕事の区切りをつけて交替で昼寝をしているが、そんな時でも本当は女たちはやっぱり男に働かせないといけないから、間食の火焼きも準備しないとないだろう。

コメント:

「仕込む」という言い方は違っても、同じような意味の言葉があり、「仕込む」の「シコ」だけで、「仕込む」と同じ意味になることができます。熊本では「好きなしこ食べなせ」「どしこ持って行ったらよか?」と言って、「シコ」を「○○だけ」という意味で使っています。

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
2年 深瀬るか

野津原方言と文化の継承を考える。

野津原方言を残していくには、「方言を音声で残すこと」が大切だと思います。今まで数回にわたり、野津原方言集の修正を行ってききましたが紙媒体で見て、自分で読んでみた時よりも、調査会の皆さんが交流会の時に読み上げてくださった時の方が、より野津原方言を理解し感じることが出来ました。

そして、方言が大切だなぁと思う点は、なによりも方言にバリエーションがあるという点です。これは野津原方言以外の方言にも言えることですがその地域ならではの言い回しが存在し、それを使うことで人々は日常生活での会話をしています。そんな方言が無くなってしまえば表現がやせ細ってしまうと思いました。

そのため「方言をどう残していくか」ということを考えるよりも先に母語を大切にしていこうと思います。方言は絶滅危惧種のようなものです。絶滅を防ぐことが出来るのは、その方言を使っている人だと思っています。自分の母語を大切にしていけることが、その方言の未来に繋がっていくのではないのでしょうか。

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
2年 今別府竜也
2年 深瀬るか
2年 チョウセイキ



方言を録音!

ウドウムドウ



野津原(のつはる)方言集
続編15 / 6 ページ

そんな昔ん昔ん地震の後じ山揺れがあったかち思うたらダマシ地面がせりあがちありやありやち見るまに丘がでけた。周りんしたちやそんな不思議なこち一タマガツタがそれから毎日んごつ背のびしち1月あまりんなかめ姿んいい山が出来あがった。『ウドウムドウ』したき宇曾山になったとか。

(その昔、地震の後に山揺れがあったかと思ったら突然地面がせり上がり、ありやありやと見る間に丘が出来ていた。周りにしたらその不思議なことに驚いたがそれから毎日のように背伸びをして、ひと月あまりで姿のいい山が出来上がった。有象無象に動いたから宇曾山になったとか。)

コメント:「ウドウムドウ」を山が動いたときのオノマトペや擬音語だと思っていたが、有象無象という言葉が土地の訛りによって変化したのだと思われる。

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
奥野美咲

デーラ



野津原(のつはる)方言集
続編14 / 77ページ

チュウテンでーらがこれかる多いき楽な道中。

(と言っても平な道がこれからは多いから楽な道中。)

コメント:

新潟県佐渡、熊本県天草郡、大分県速見郡、北海部郡で台地という意味があります。同じ「でーら」でも福島県南会津郡では盆地の意味をもっています。他にも、「だいら」「でら」といった言葉が地面の状況を指す言葉になっています。

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
入田美優那

イチノクレ

野津原(のつはる)方言集
続編13 / 42ページ

イチノクレ 夕方

取り上げたきっかけ

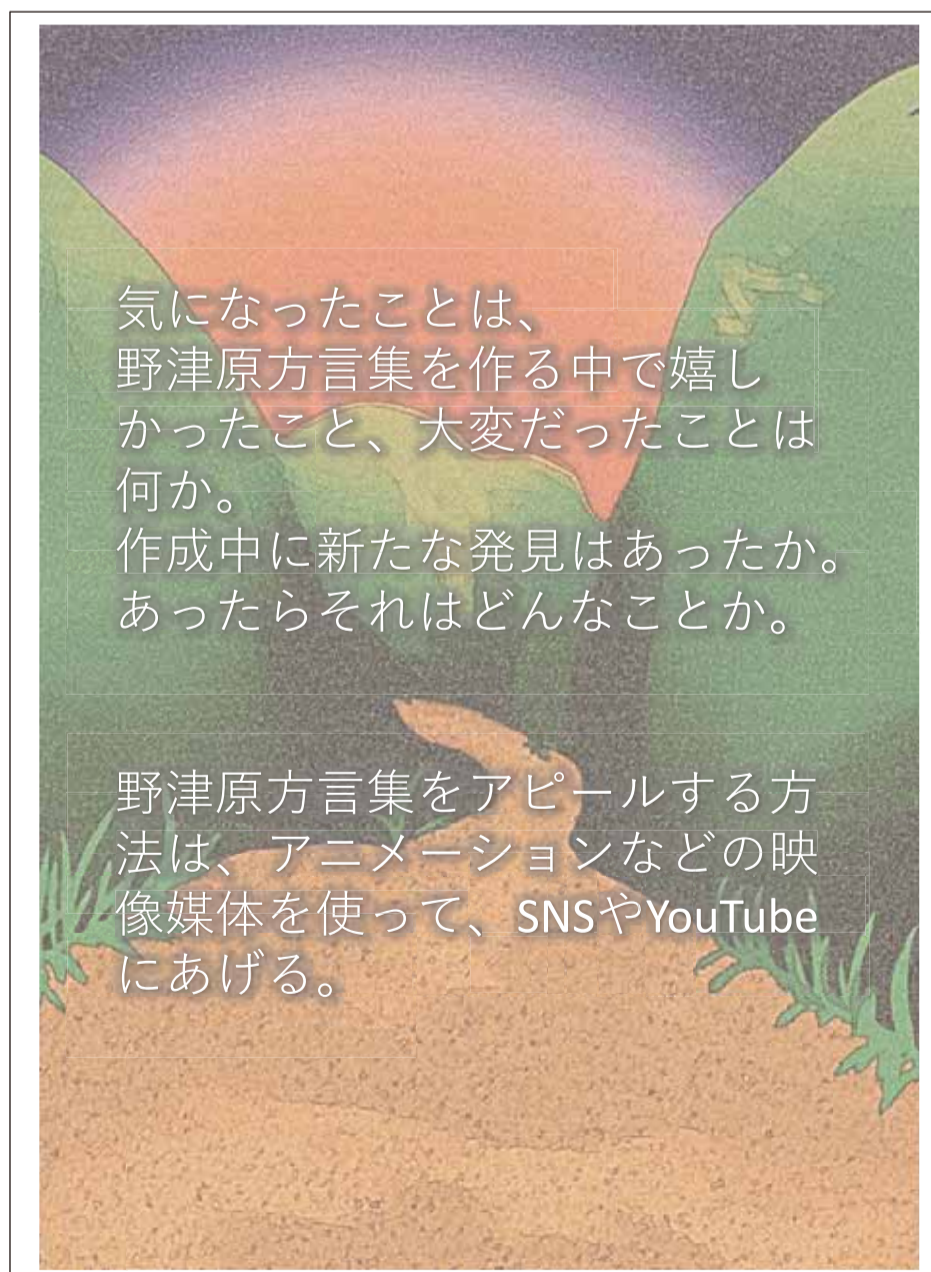
言い方がおかしいです

コメント

「イチ」は「一」、「クレ」は暮れ。イチノクレはしつの暮れを連想させます。夕方が本当だと知っています。

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
王子羽

野津原方言と文化の継承を考える。



気になったことは、野津原方言集を作る中で嬉しかったこと、大変だったことは何か。作成中に新たな発見があったか。あったらそれはどんなことか。

野津原方言集をアピールする方法は、アニメーションなどの映像媒体を使って、SNSやYouTubeにあげる。

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
2年 奥野美咲
2年 入田美優那
4年 王子羽

バックン?

野津原(のつはる)方言集
続編16 / 70~71ページ

ドツカラトン晩にバックンが来ちパクパク食いかけたもんならヒヨウシネエ100匹ぐれは時の間に食うちしまう。

(どこからともなく晩に蛙が来て蚕をパクパク食べ始めたと思ったら簡単に100匹ぐらいはあっという間に食べてしまう。)

コメント:『日本方言大辞典』(小学館)にも、「バックン」は蛙を意味するだけで、どんな蛙を指しているのかが載っていません。「バックン」が出てくる文章から生息地やおおよその大きさを推測して種類を絞っていく方法なら、「バックン」がどんな蛙なのかわかるようになるのではないだろうか。

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
2年 川口玲奈

ダンゴビッチョ

野津原(のつはる)方言集
続編18 / 18ページ

ダンゴ汁んこつう 普通は『ダンゴビッチョ』トン言うがこん『ビッチョ』が ややこしい解釈ん仕方にもなる。『ビッチョ』タァ こじ言う『ダンゴ汁』んほかに 『うどん』もビッチョとん言う。すくいあげち食べるきじゃが シヤ 途中じ落とすとビチャと落ちるんが『ビッチョ』になった。らしい。

ダンゴ汁のことを普通は「ダンゴビッチョ」とも言うが、この「ビッチョ」とは、ここでいう「ダンゴ汁」のほかに「うどん」もビッチョと言う。救い上げて食べるからだか、うっかり途中で落とすとビチャと落ちるのが「ビッチョ」になった。らしい。

(他説もあり。)

【ビッチョ】は大分県の方言で【麺】という意味です。

コメント:だんご汁(だんごじる)は、大分県の郷土料理である。県内各地で食される。なお、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県にも「だご汁」と呼ばれる郷土料理がある。

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
4年 劉保

ななせダム のつはる湖



2021.12.19撮影

野津原方言と文化 の継承を考える。

初めて「バックン」と「ダンゴビッチョ」を聞いたとき、聞き覚えがなかったため何を指しているのか全くわかりませんでした。今もぼんやりとした意味はわかっていても具体的なものはわかっていません。そこで、これらの言葉をもっと知ってもらうために具現化または再現すればいいと思いました。

例えば、「ダンゴビッチョ」なら一緒に作って実物を再現したり、「バックン」なら実在する蛙に置き換えたりすることが挙げられます。

そうすることで、身近なものに感じられ、方言も広まるのではないかと考えました。

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
2年 川口玲奈
4年 劉保

テンシヨムシヨ

たいへん・すごく

野津原(のつはる)方言集
続編17 / 28ページ



オヒツにとった飯が冷めんごつ藁じ上手に作った入れ物、たわし、ほうき、編み笠、しめ縄、円座ふとん、藁ぶとん、筵、かまげ、アンペラ、タタミ床、蚕用のマブシ、畜舎の敷き藁、土壁に入れる藁、モッコ、荷覆い、堆肥、肥料、灰、うら盆送り火、用途は**テンシヨムシヨ**多い。

(藁の出番が多いという前置きがあった上で)
肥料、灰、うら盆送り火、用途は**たいへん**多い。

コメント:

元々は「むやみやたらに」という意味で使われていたが、変化して「すごく・大変」という意味で使われるようになった。どちらも数の多さを表す言葉なので、たくさんあるイメージで!

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
2年 宮崎 海大

テンシヨムシヨ

野津原(のつはる)方言集
続編17 / 28ページ

オヒツにとった飯が冷めんごつ藁じ上手に作った入れ物、たわし、ほうき、編み笠、しめ縄、円座ふとん、藁ぶとん、筵、かまげ、アンペラ、タタミ床、蚕用のマブシ、畜舎の敷き藁、土壁に入れる藁、モッコ、荷覆い、堆肥、肥料、灰、うら盆送り火、用途は**テンシヨムシヨ**多い。

オヒツに取ったご飯が冷めないように藁で上手に作った入れ物に、たわし、ほうき、編み笠、しめ縄、円座ふとん、藁布団、藁布団、筵、かまげ(収穫した米を入れる藁で作った袋)、アンペラ(刈り取り後、茎を乾燥させて平に打ってから編む)畳床、蚕用のマブシ、畜舎の敷き藁、土壁に入れる藁、モッコ(網状に編んだ運搬用具)、荷覆い、堆肥、肥料、灰、うら盆送り火、用途は**すごく**多い。

テンシヨムシヨから「すごく・大変」という意味は想像しにくいので、覚えるしかないと考えた。そのほかには、「テンションがおかしくなるほど大変」というような覚え方もいいなと思った。



別府大学 文学部 国際言語・文化学科
廣瀬春菜

テンシヨムシヨ

野津原(のつはる)方言集
続編17 / 14 ページ

そんな時じゃった稲光りがすると割れたような落雷じ大粒ん雨が**テンシヨムシヨ**オシゲモネエ降りでーた。

(その時だった。稲光りがすると割れたような落雷で大粒の雨が**大変**惜しみなく降り出した。)

コメント:テンシヨムシヨって何?と思うでしょうが意味は「すごく・大変」とシンプルかつ汎用性が高いので、一度口に出して言ってみましょう。「大分県はテンシヨムシヨ良いところ!」

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
古谷茅

テンシヨムシヨ

野津原(のつはる)方言集
続編17 / 13~14ページ

落雷じ大粒ん雨がテンシヨムシヨ オシゲモネエ降りでーた。

(落雷のあと大粒の雨がすごく降り出した。)

コメント

「すごく」という意味は昔から使われていたが、言葉がとても違うことがわかった。テンシヨムシヨという意味は、普段から使われている事がわかった。

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
磯口湊